

いま「看護」ができること  
「看護」に求められること

# 看護フォーラム2014

A FORUM OF NURSING 2014

参加費用  
無料



■ 講師  
**川嶋みどり氏**

日本赤十字看護大学名誉教授

とき

2014年 **1月11日** 土

◎受付 午後1:15~

◎午後1:45開会~  
午後4:45終了

ところ

**赤羽会館 講堂** (600人程度)

〒115-0044 東京都北区赤羽南1-13-1 TEL03-3901-8121

JR赤羽駅東口(京浜東北線、埼京線、高崎線、宇都宮線) 徒歩5分

地下鉄南北線赤羽岩淵駅 徒歩10分

主催：看護フォーラム2014 実行委員会

【賛同団体】 東京看護をよくする会 / 東京地方医療労働組合連合会 / 東京医療関連労働組合協議会

東京自治体労働組合総連合・医療部会 / 東京民主医療機関連合会

連絡先: 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 ラパスビル2F(東京民医連内)

電話: 03-5978-2741 FAX: 03-5978-2865 E-mail: kango@tokyominiren.gr.jp

# いま「看護」ができること 「看護」に求められること

今、日本は超高齢社会となり、2025年を見据えて病院から在宅へ、「地域包括ケア」体制が提起され、地域の医療機関や介護事業所の連携の大切さが強調されています。これから「多死時代」となり、倫理問題、看取りの場の問題など、医療・介護を取り巻く課題は大変重要なものです。

その中で、厚生労働省は2013年3月「特定行為に係る看護師の研修制度」についての法制化を打ち出しました。チーム医療推進の中での看護の役割拡大が地位向上につながるとして、今まで看護師がほとんど実施していない医行為も「特定行為」として実施するよう求められています。しかし現場の看護師は診療の補助業務やナースコールに追われて働き、患者さんの病気や苦痛、治療に対する不安に寄り添えず日々の業務をこなしているのが現実です。この制度は看護現場を混乱させ、看護本来の専門性を変化させる懸念をはらんでいると考えます。

また、看護師確保対策として看護協会でもワーク・ライフ・バランスの推進や勤務体制改善、ナースセンターの機能強化などを推進していますが、現場は看護師確保が困難であり、離職も続いています。そして、これから在宅療養を支える要となる訪問看護師の確保と養成も非常に困難な状況にあります。

5年前に「看護フォーラム2009」を開催し、看護の本来の業務とは何なのか、看護の原点に立ち返り、現状を打開するため、地域において病院が連携し医療崩壊をくいとめる契機としました。今回、下記の通り「看護フォーラム2014」を開催し、改めて「看護」に求められることを議論し、看護の力、看護の役割を社会に問いかけていきたいと思えます。ぜひ多くの看護師のみなさんに参加をお願いするものです。

## 看護フォーラム2014 A FORUM OF NURSING 2014

### ●とき

2014年1月11日<sup>土</sup>

- ◎受付 午後1:15～
- ◎午後1:45開会～午後4:45終了

### ●ところ

赤羽会館 講堂 (600人程度)  
〒115-0044 東京都北区赤羽南1-13-1  
TEL03-3901-8121

### ●講演



川嶋みどり氏  
日本赤十字看護大学名誉教授

### ●プログラム

- 13:15 …… 受付
- 13:45 …… 開会  
…………… 講演 川嶋みどり氏 日本赤十字看護大学名誉教授
- 15:00 …… リレートーク&セッション
- 16:45 …… 終了



アクセス JR赤羽駅東口(京浜東北線、埼京線、高崎線、宇都宮線) 徒歩5分  
地下鉄南北線赤羽岩淵駅 徒歩10分

### 賛同 団体

- 東京看護をよくする会 ●東京地方医療労働組合連合会 ●東京医療関連労働組合協議会
- 東京自治体労働組合総連合・医療部会 ●東京民主医療機関連合会